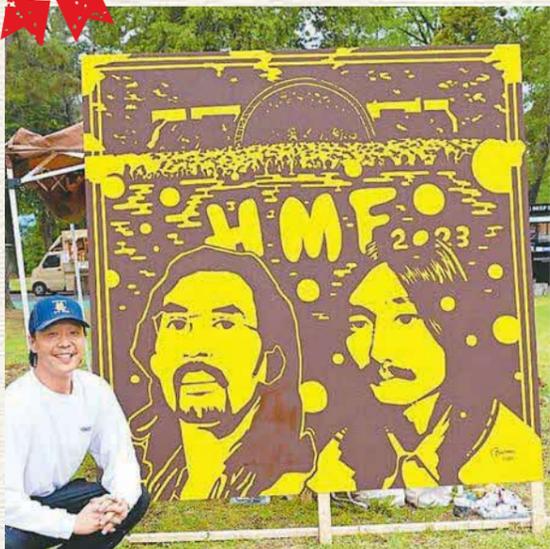


はつらつ
ところっこ

誰かの思いを形にする喜びが原動力



デザイナー・アーティスト
／まちなかコンサートメインビジュアル担当

RUSOW さん（市内在勤）

所沢の思い出の場所と言えば、音楽喫茶MOJO。オープンして間もなく通いはじめ、たくさんのお出掛けがあった。休みの日はアーティストからパパに切り替えてこどもと一緒に過ごす。「こどもの友達家族と集まったり、公園で遊んだり、どこにでもいる普通の父親だと思います」。



「目の前の人を何を求めているかが一番気になってしまうんです」と少し困ったような笑顔で話すのは、デザイナーでアーティストのRUSOWさん。

小手指育ちで小手指小学校・小手指中学校を卒業し、所沢西高校に進学。高校では、部活やバンドで毎日忙しく過ごす。高校卒業後の進路に悩んでいたとき、デザイン専門学校の学校説明会を聞く機会を得た。「デザインってすごくいいよな…」と感銘を受け、都内のデザイン専門学校へ入学する。

入学後はデザインの勉強とヒップホップに熱中し、のめりこんだ。学校が終わってからヒップホップの世界に入りびたり、明け方に少し寝て、学校へ行く毎日。若いエネルギーで好きなことに突き進んだ。

そんな学生生活も終わりを迎え、就職の時期。デザイン、特にグラフィックが一番興味があった。デザイナーとして働くことをイメージしていたが、恩師に勧められて、ウェブサイトを中心に扱っていたデザイン会社のディレクターとして就職した。しかし、ベテランデザイナーを束ねつつ、依頼主との調整を担う仕事が最初からうまくできるわけがない。必死に仕事を覚えながら、終電で帰宅する日々。いつ辞めようかいつ辞めようかと自問しながら3年耐える。

25歳のときに、デザイン会社を退職。自分の感性を解き放ちたい気持ちが抑え

られなかった。アルバイトをしつつ、ライブペイントを始める。ライブが行われる夜10時から朝5時の間に、絵を完成させるスタイル。採算は合わなくても、自分を成長させたくて、声がかかれば全国どんな場所へも行った。イベントが終わるとロール状のキャンバスを担いで帰る。そんな生活を続けていく中で、いつからかデザインの仕事が増えて、ウェブページのデザイン、イベントフライヤー、ロゴなどを制作するようになる。

無我夢中で走り続けてきたが、最近は自分の作りたいものと他の人が求めているものをかけ合わせて、デザインに落とし込む過程や、社会に求められる形に変換していくことが好きだとしみじみと実感するようになった。そして、自分の関わるイベントでは全体を見つつ、自然にバックアップする役割を果たしていることに気づいた。学生時代の恩師は、自分の個性を見抜いていた。

アーティストとしてもっと自分の表現を優先すべきかと悩むときもあるが、出会った人や経験によって今の自分が作られていて、デザイナーを続けられていることが答えだと思っている。全国各地で開催される音楽イベントでのライブペイントや、店舗内外の壁画制作など多種多様なデザインワークを行っている。これまでに培った気力・体力は健在。求められれば海外にも行きたいと意欲にあふれている。「出会った人の気持ちやバックボーンを、大切にしているだけなんです」と笑う姿が印象に残った。（取材：上地）

今月のプレゼントクイズ！

あなたの指先に華やかな「春」をお届けします♪
ジェルネイル 1回無料券 (5,000円相当×4人)



落ち着いた雰囲気ナチュラル系ネイルサロンです。

爪にダメージが少ない方法で施術しますので、健康な爪を目指しながらジェルネイルができます！暖かくなり、外出も多くなる季節。華やかなネイルでお出かけして、春の訪れを指先から楽しんでみませんか？

●ネイルサロン春
若松町834-1 パークサイドドエルB202
☎080-1985-5620
(午前10時～午後4時、午後9時～11時/不定休)

▶詳細は同サロンInstagramをご覧ください。



◆今月のクイズ

9・10・12面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につなげると？

◆応募方法（4月10日(休)締め切り）

①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥電話番号⑦4月号の感想を記入し、〒359-8501広報課（住所不要）に郵送・市庁（Qプレゼント）で応募

◎当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていただきます。



▲市庁

読者感想文

- 事故により車いす生活を余儀なくされながらも、スポーツに仕事に色々なことに果敢に励む生き様に感動しました。私も病気を抱えながら今を生活しているので、とても励みになり、私も前向きになり、頑張ろうと思えました（向陽町・20代）
 - 車椅子ハンドボールはパラリンピックの種目に採用されてないことを知りませんでした。日本代表ということで、いつかパラリンピックに種目が採用されるといいですね！活躍するその日をとても楽しみにしています（星の宮・50代）
- 編集から ●3月号のところっこは、車いすハンドボール日本代表の伊藤さんでした。不慮の事故にもめげ

ずに、ひたむきに努力を続け日の丸を背負い戦う伊藤さんに心を動かされた方も多いのではないのでしょうか。今後の活躍にも目が離せないですね！

- 特集を読んで、不安な思いになるときには、気軽に話すことができる相手や、話を聞いてくれる人がいてくれると安心だと思いました（山口・70代）
 - クラスのゲートキーパーになることができているかな、と思った（美原町・10代）
- 編集から ●4月は進学や就職などが増えストレスを抱えやすくなります。悩んでいる人がいたらぜひ、一歩踏み出して声かけを！

編集後記

🐧 4月から年度が切り替わり、新たなスタートを迎えます。今年度の目標は、取材力と写真撮影技術の向上です！一朝一夕で身につくものではないですが、コツコツ努力を続けようと思います。令和7年度も、「読んでうれしい広報紙」を目指して、「読みやすい・役立つ・共感できる」と感じてもらえる広報とことろざわをお届けできるよう、頑張りますので、今年度もよろしくお祈りします（深町）

🐧 所沢のこれからの動きが分かる本特集。ぜひ皆さんにご覧いただき、所沢の未来について考えるきっかけになれば幸いです。4月から始まる後期基本計画にも注目です♪（関）

🐧 アートを見るのは好きなので、はつらつところこのRUSOWさんのお話を興味深く、楽しく伺いました。ただ、自分の知識不足を感じて、もう少し濃いインタビューができればと反省です（上地）